

8月2日(水)～4日(金)

「第41回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門」

みやぎ総文祭へ参加しました。8月2日に石巻専修大学の広大なキャンパスのもとで開会式が行われ、午後より口頭発表の部では、物理分野36テーマ、化学分野37テーマ、生物分野39テーマ、地学分野35テーマの発表が行われました。また、ポスターセッションの部では、41テーマの発表がありました。

本校からは、「導電性フィルムを使った色素増感型太陽電池の作成」と題して発表を行いました。特に、ポスターセッションでは、2日間で合計7時間の発表時間が設定されており、3年生の毛利一葉さんは、常に3名～8名の聴講者に囲まれ、途絶えることのない来場者に精力的に発表を続けました。発表では、補助資料として作成した太陽電池の実物を提示しながらの発表技術は見事でした。2日間の発表会を通じて、他県の生徒さんや引率の先生、大学の先生方も来ておられ、質問を通じて研究を進めるうえでの着眼点や検証方法など貴重なアドバイスいただき、この上ない勉強になりました。結果は文化連盟賞をいただきました。

8月3日の午後からは、現地研修も行われ、地学フィールドワークに参加しました。石巻～女川の沿岸地域を巡り女川では津波の現場を学習し講演も聴講しました。最終日は、仙台に移動しました。会場の仙台国際センター大ホールでは、東北大学災害科学国際研究所所長の今村文彦氏の講演を聴講し、今後の科学は多面的にアプローチが必要であることを学びました。

来年は、長野で行われます。2年生のみなさん、県大会を勝ち抜いて全国総文祭をめざしましょう。

